

# 佐賀県の取り組みのご紹介

海エネ専用ホームページ

[http://www.pref.saga.lg.jp/web/shigoto/\\_32796/UMIENE.html](http://www.pref.saga.lg.jp/web/shigoto/_32796/UMIENE.html)

平成27年12月7日

佐賀県 新エネルギー課

# 平成27年度 佐賀県海エネ産業推進事業



## 目的

7月始動

国の海洋再生可能エネルギー「実証フィールド」の運営管理体制を整備することにより、「実証フィールド」の利活用促進、海洋再生可能エネルギー産業の創出、地域活性化を図る。

※海洋再生可能エネルギーを以下「海エネ」という。

## 事業内容

- 1 実証フィールドの運営管理
  - ・ 佐賀県海エネ推進協議会の設置・運営
  - ・ 気象・海象観測機器の整備等
  - ・ 事業者の誘致活動
  - ・ 国への提案活動
- 2 海エネ産業の創出
  - ・ 佐賀県海エネ産業クラスター研究会（仮称）の設置・運営
- 3 海エネの普及啓発
  - ・ 業界イベント出展、パンフ製作等
  - ・ 視察対応等

※佐賀モデル：実証フィールドを起点に漁業、製造業（造船）、建設業、視察等による観光産業（運輸、宿泊、飲食）など様々な産業の活性化が進み、地域が潤うイメージを総称。



# 佐賀県海洋再生可能エネルギー推進協議会



唐津市加部島沖が **国の実証フィールドに選定** されたことから、国と連携し、実証フィールドの運営管理、漁業協調、産業創出、地域活性化策などを検討。

外部委員9名による



佐賀県海洋再生可能  
エネルギー推進協議会

## 委員名簿

情報共有  
総合調整機関

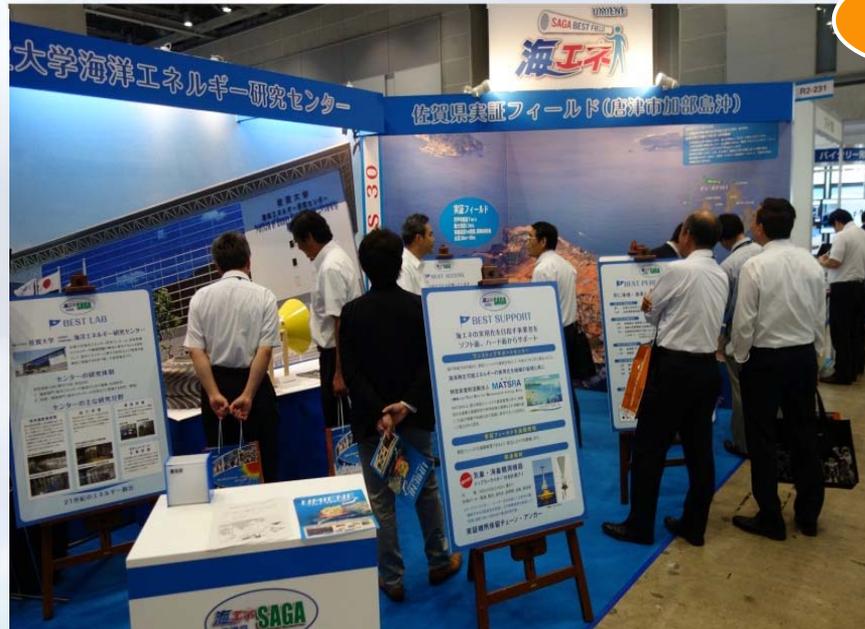
区分	委員	経歴
学識 経験者	木下 健	東京大学
	永田 修一	佐賀大学
海域を利用する者 の代表	川寄 和正	佐賀玄海漁協
	梅崎 博昭	// 鎮西町支所
	酒井 英氣	// 加部島支所
地元関係 機関の 代表	堤 幸尚	九州電力
	坂井 亨	地域産業支援センター
	阿蘇 靖則	唐津市
	力武 浩和	伊万里市

<アドバイザー>内閣官房 <オブザーバー>唐津海上保安部、関連企業等  
<事務局>佐賀県

# 東京で発信！！～再生可能エネルギー世界展示会出展～



7月



佐賀県ブースの様子(H27.7月)



フォーラム(H27.7/31)講演の様子

## 来場者の声

### 海外含む述べ650名の企業、研究者が来場

- ・ 佐賀県の取組みに期待しています。
- ・ 佐賀市も再生可能エネルギーに熱心ですし、佐賀は頑張っているイメージ。
- ・ 民間が多い中、自治体が出展しているのは、すごいです。
- ・ このような立派な施設（佐賀大学海洋エネルギー研究センター）が佐賀にあることを知りませんでした。



# 海エネに取り組む事業者 を サポート



## 1 気象・海象観測機器 (ライダーブイ)

### 特色

- ・風況、波浪、潮流データ計測可能
- ・高度12.5m~300mの風況計測可能 (ドップラーライダー付計測ブイ)
- ・国内初の導入
- ・独立計測、データ通信可能

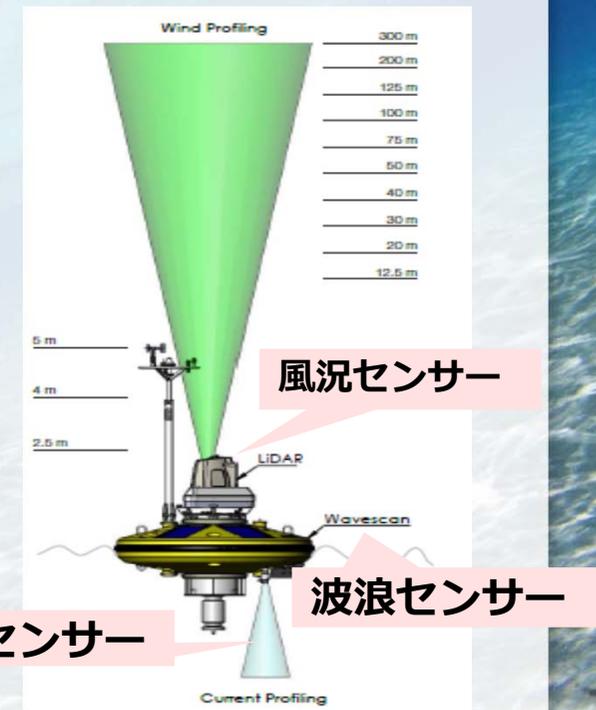
## 2 実証機用係留チェーン // アンカー

## 3 実証フィールド 運営主体

特定非営利活動法人 MATSURA

※MARine Test Site for Renewable-energy Asia

## 4 実証フィールド利用 ガイドライン (整備中)



# 佐賀県 実証フィールド



名称	唐津市 加部島沖
場所	唐津市呼子町加部島北端ツイタ鼻から北西海域
アクセス	福岡市から車で2時間、佐賀市から車で2時間 唐津港から船で10分、呼子港から船で5分
風速	月平均7m/s
波高	夏季1m未満、冬季1m前後、周期6秒前後
潮流	最大流速（大潮時）1.7m/s 3.3ノット
水深	20m以深～50m以浅
地質	礫～砂礫質（一部岩質）
海底地形	本土と離島の中央部に向かうほど深く平ら
広さ	2平方km以上
地域の特色	①漁業協同組合との協力体制を構築した佐賀方式 ②設置工事、メンテナンスが便利なアクセス ③陸地から実証フィールド目視可能 ④周辺に研究拠点、後背地、変電設備等有
運営主体	特定非営利活動法人 MATSRA 



※平成26年7月、国の海エネ「実証フィールド」に選定。国の要件を満たす海エネは、浮体式洋上風力及び潮流。

## 佐賀県の歩み



年 度	内 容
23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業等関係者と調整 (12月～3月)</li> <li>・ 海域を漁業者から推薦 (3月)</li> </ul>
24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海域の実測調査 (6月～3月)</li> <li>・ 海エネ協議会 (7月～) (実績7回)</li> </ul>
25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海エネ協議会 (～3月) (実績4回)</li> <li>・ 日仏海洋エネルギーワークショップで佐賀P講演</li> <li>・ 国の実証フィールドに申請 (2月)</li> </ul>
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>国の実証フィールドに選定 (7月)</b></li> <li>・ 第9回再生可能エネルギー世界展示会出展 (東京)</li> <li>・ 海エネ推進協議会 (9月設置) (実績3回)</li> <li>・ 実証フィールド運営主体 (特定非営利活動法人MATSRA) 設立</li> </ul>
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オランダ駐日王国大使視察</li> <li>・ 海エネ推進協議会 (7月設置)</li> <li>・ 第10回再生可能エネルギー世界展示会出展 (東京)</li> <li>・ 気象・海象観測機器運用テスト (11月)</li> </ul>

第1ステージ  
(実証フィールド誘致)

第2ステージ

産業創出